

随 想



カット 新谷 英子

人形と 銀婚式 竹村まこと

△腹話術タレント△



トリオ腹話術で一人三役の竹村さん
(左・ピコちゃん 右・チコちゃん)

「ヨノナカニ キミホド
ナイオトコ オラヘンナ」
タヨリ

「何でボクが頼りないねん」
「ソヤナイカ カンガエテミ キ
ミラ エエトシシテ イツマデモ
オンナノコミタイニ ニンギョウ
ダイテ アンデルヤナイカ」
— 人形との会話より —
早いものでボクが腹話術をやり
だして今年で25年目になります。
25年といえば夫婦なら銀婚式を迎
えたことになる訳です。そこで友
人や知人達が五月十二日の夜に、
生田神社会館で舞台生活25年記念
パーティーをやってくれることに
なりました。タイトルは「世にも
アホらしい人形との銀婚式パーテ
ィー」。ボクは人形と結婚したよ
うなものかもしれないと考えるこ
とがあります。25年前にリリーと
いう映画をみてその中に出てくる

人形に魅せられてしまい、その時
から人形のとりこになって早速ア
マチュアの人形劇団を作り公演活
動を始めました。

テレビもない頃だったのでこ
も達はどこでもとてもよろこんで
みてくれました。やがて東京の人
形劇団からお声がかかり親の反対
を押しきり家をとび出して本格的
に人形の世界に入りこんでしまっ
たのです。人形劇団員としての生
活は無我夢中でした。そんなある
日のこと、幕間のつなぎに腹話術
をけいこしてやってみるとの命令
で腹話術のけいこをすることにな
ったのです。ところが一週間しか
けいこの期間がなかったもので不
安な気持ちで初舞台をふんだらそれ
がバカうけてそれからというもの
は腹話術の方に興味がかたむい
ていったのです。

腹話術を始めた頃人形は自分で
作ったものの人形を入れるトラン
クがないという有様。食べるのが
やっこさの生活をしていたから
トランクも買えず仕方なしにポー
ル紙で手製のトランクを作り布を
貼って何とか格好をつけたもので
す。どこかにそのトランクは捨て
てしまいましたが今考えてみると
そのトランクは、記念においてお
けばよかったと惜しい気もします
やがてテレビが普及して来まし
た。腹話術はテレビ向きの芸では

ない、ということではプロの腹話術師（この言葉、古くさくさく嫌いですね）も一人減り、二人減り15人位いた腹話術師も今はほとんどいなくなつてしまいました。最近腹話術をみたことがないということも違がたくさんいます。

このままでは腹話術をやる人はいなくなつてしまうのでは、そんな不安がつのつてきました。

目下全国をかけ廻つて保育やボランティア関係の人達に腹話術を指導して普及運動を行ないながらボク自身も昨年から同時に二体の人形を使うトリオ腹話術にとりこんでいます。宇宙時代に人形にうつつてぬかすこんな男も神戸に一人ぐらいいてもおかしくないと思うのです……。

「キミハ ボクトイウ ニンギョウガ イナカッタラ タベテ イカレヘンネンデ モット ボクラダイジニセーヨ」

彫刻の

ふるさとで

新谷 英子

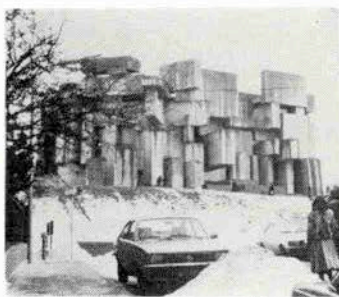
△彫刻家▽



ヨーロッパの魅力は、昔ながらの都市造形と伝統の生活風習が今なお生きていることであろうか。

日本の木の文化と趣きの異なる石の文化が長い歴史を刻み、それぞれの過去を残しながら特色をもつた文化に心ひかれるのです。

大都市はもちろんのこと、どんなに小さい町や村にも必らず教会の尖塔がそびえており建築様式やその技術に興味深いものがある。



これが教会？（ボトゥルバ教会）

ヨーロッパ人の生活の中心でもある教会は、また彫刻の発祥でもあり、カトリック信者でなくてもまるで美術館のようである内部はモザイクがドーム一面にほどこされていたり、ステンドグラスの色彩もあざやかな壁面、整然と列ぶ椅子とローソクの灯のゆらぐ祭壇、横の小さな祭壇には誰かがそつと供えた花から感謝の願いの気持ちがかがわれる。

しかし、近頃どこにも新風が吹きまくり、祭壇にはタピスリーに

デザインされたキリスト像の前でエレキギターグループによる現代的な雰囲気のある教会があったり、また、小高い丘にひっそりと建つモダンな彫刻を見かけ近づいてみると、これが教会だったのである。

この内部は、無機質な室内空間に教会としての尊厳や厳肅さは感じられず、まわりの批判もさまざまであった。

私は中世の教会で奏でられるバロック音楽の響きにひたつていると、不思議に我々の彫刻のふるさとがそこにあるように思えてくるヨーロッパの街角に数多く見られる長い歴史にたえてきたすばらしい「語り」のある彫刻に、私は探し求めてきたものを見出したような気がしてならない。古いと敬遠されがちな伝統彫刻から得るものは、まさに「語り」であり、決して安易なものでないことをしみじみと感じ、インスタント物品の目立つ日常からしばらく離れてみて自己を振り返つたことであつた。

最近の彫刻にもさまざまな表現形式があり、ひたすら奇を追いかけ走り続けることより、時には立止まって地に足がついているかを確めながら、さらに前進することの意味こそ重要なことではなからうか。

昔から音楽と美術の深い結びつきは、生活に密着しているという

ことで見逃せないし、今さらのよ
うにそれらが、ゆとりとして心豊
かに人間社会に影響していること
を感じている次第である。

南ドイツにある伝統技術専門学
校で共に過ごした人々が伝統から
習うことの大きさを知り、それを
土台にして創作活動に前向きな姿
が私にとつては、彼等の素直な声
として、また、ウイーンでの生活
のなかから、大いに感激もし、ま
た大いに反発も感じながら過こし
たことを思い出しつつ、意を新た
に「我が道をゆく」心境である。

一徳さんと イトク

ハワイアン

末広 光夫

△音楽プロデューサー▽



神戸という街は、イコール・ア
メリカのニューオリンズである。
というジャズ・ファンは大きく
うなずいてくれる。そう、先駆者
井田一郎氏が神戸でわが国初のジ
ャズ・バンドを組織して、以来、
神戸は日本のジャズ発祥地とされ
ているからだ。その音楽では由緒
ある神戸にもう一人分野は違つて

も、バイオニアが育っている。その
名を村上二徳という。といつても
ご存じない方、はじめて耳にする
方も多いだろうが、わが国ハワイ
アン界では、村上二徳といえは
「イトクさん」の愛称で、戦前
の昔から大変親しまれていたスチ
ールギター奏者である。

昭和十年——当時、神戸商大の
学生だった村上氏は、大学の仲間
たちと「サザン・クロース・カレ
ッジャン」というハワイアン・バ
ンドを組織して、アマチュアなが
ら神戸を中心に関西で演奏活動をつづけていたという。また、その年にハワイから来日したバツキー白片と共に当時まだ耳新しいハワイ音楽を、はじめてラジオ（JOKV）の電波に乗せたという話は日本のハワイアン史にもはつきりとするされている。ところで村上イトクさんのレコードだが、これが数すくない上に入手困難ときている。三年前に日本コロムビアで編集された「日本のジャズ・ソング、戦前編」にわずかにきかれるだけである。でも、嬉しいことに、その中には村上二徳不朽の名曲「熱風」が彼自身の演奏で取められている。この曲はスチール・ギター奏者を自認する者なら一度は手がけるほどの名曲、名演で、ハワイアンのみならずジャズ・ギター奏者の間でもよく知られている。

「サザン・クロース・カレツジアン」
「カルア・カマアイナス」
「ワイラナ・グラーズ・シヤック」
「ボーイズ」すべて横文字だが、これが村上自身がリーダーになつたり、所属したグループである。

この中の一つ「ワイラナ・グラーズ・シヤック・ボーイズ」を憶えていらつしやるだろうか。そう、戦後ひと頃あのダンス・ブームの頃、レスン場へ行くと、タンゴのステップなら「悲しき夢」フォックス・トロットのステップになる
と「夢にみるバラ」というのが半ばおきまりだった。いま四十代もそろそろ半ばを過ぎようとしているオジサマ、オバサマ族なら、あの調べ、肩を寄せて聴いたメロデイを、よもやお忘れではないだろうが、あのなつかしいスチール・ギターこそ、村上二徳の名演である。

村上二徳の偉業を讃えて——こんな堅いキヤッチ・フレーズはどうでもいい。戦前から自称するハワイアン・マニア。三十年昔に社交ダンスに熱中した中年諸君。オールド・ジャズ・ファンだつていい。それから戦後開市でリーゼントスタイルに黒メガネ、アロハ・シヤツで町をカッ歩していたチンピラ君もみんな集って頂きたい。ひたすらハワイ音楽復活のために。

■アロハコンサート

6月24日(日) 1時44分
オリエンタルホテル2Fにて

□ある集いその足あと

乙美会関西本部

亀山 芳美

△乙美会専任講師▽

パナフラワー、一般的にパンの花と言った方が御存じの方も多いと思います。生花に流派がありまう様に、私共はパン素材以外に物を混入しませぬ為、パナ（ミックスの意）フラワーと称しております。特色は色調にあり、色鮮やかなメキシコ調では無く、しっとり落着いた優雅なヨーロッパ調が本流です。石濱勢津子先生との出会いは若屋川のブティックのウインドーでした。作品を目にした時の激しい戦慄は今も鮮やかに甦って参ります。趣味の御稽古作品を越えた芸術としての威厳と格調に圧倒さ



西宮・越木岩福祉会館での稽古風景<右端が筆者>

れてしまいました。当時、東京で学生生活を送っておりましたが、東京のどこにもこんなに素晴らしい創花を見出し出したことはなく街角に佇みながらループル美術館にいる様な錯覚を起こしてしまつた程です。先生が関西の方と知り故郷の芸術センスをとて誇らしく感じた事でした。卒業後入会し、五年が過ぎ次々と増えるレパートリーに只夢中になつておりました。こんなに長く続けさせて頂いておりますのは（何年も先輩の方も多いのですが）和やかな教室のムード、それ以上に先生の豊かな才能と御人格の高さに因るものと確信致しております。絵画を専門的に勉強され、造花を始め種々の手工芸を習得され個展を初め、会結成後は福祉活動、ワシントンとの花による国際親交を持たれたりという御経歴を知るに至つて、あの時の戦慄が単なる表面的造型美や色彩的素晴しさだけでは無い事を実感し心の眼を開かれた思いが致しました。先生の花と心の美の世界に一步でも近づく事がこれからの本当の勉強だと思っております。先生の作品に出会う度に、あくまでも花の基本の上にその基本を遙かに越えた風格と重厚な、しかし重苦しきは全く無くむしろ温かみのある優雅な清涼感に満ちた威厳、大胆な表情の端々にあふれる細やか

な情感、不自然な制約を受けず自然に生まれ、互いにかし合い自然の広がりや無限の可能性を感じさせる色の素晴らしさに、一瞬感動の言葉も失つてしまいました。本物の作品が出来る為には単に器用なだけでは物に過ぎず、創る人の心映え・生活・研究心と愛情・人間性が問題なのではないでしょうか。自らを素直に見つめる事が出来なければ単に上手で綺麗な花は作れても、先生の作品の様に人の心に優しく呼びかける生命の息吹きの感じられる花は創れない様に思われます。どんなに素晴らしい絵画や造花でも人につくられた作品には、自然の花の美の前では一步譲らねばならないところがあります。反面、自然の花の生命美からは得る事の出来ない、作者の心、人格の美の反映があります。先生のこの世界こそ、奥様であつて御母様であり多くの人を導きながら趣味の創花を芸術の創花の域に達し得られたのではないのでしょうか。高松宮妃殿下の御目にとまり献上されたことも私には何か自然なこの様に思われます。数カ月のヨーロッパ研修も、学生以来数年ぶりに訪れるなつかしさよりも、あの錯覚が今度は、ループル美術館の一室で、先生の個展会場にいる様な風に変わるのではないかしらと、とても楽しみにしております。

オリエンタル レディスクラブ

会員募集中



月例グルメの会：シェフによるメニュー説明

年会費：お一人 5,000円

割引：オリエンタルホテル、六甲オリエンタルホテル
での宿泊、飲食の際サービス料10%割引いたし
ます。その他いろいろの特典がございます。

特別催：随時、会員のための特別催しをいたします。

お問い合わせ

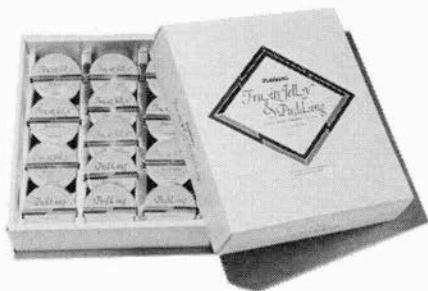
オリエンタルレディスクラブ事務局

神戸市生田区京町25 オリエンタルホテル内

☎(078)331-8111

5℃の風

ユーハイム デザート



このマークのお店でお買い求め下さい

本 店 神戸市生田区下山手通2-31 TEL (078)331-1694
三 宮 店 神戸市生田区三宮町3-15 TEL (078)331-2101
さんちか店 神戸市生田区三宮町1-1 TEL (078)391-3539
西ドイツ本店 フランクフルト・アム・マイン・アム・ザルツハウス1
ゲートハウス内 TEL (0611)280262-3

町名

竹中 郁 △詩人▽

宮崎辰雄市長に

帆柱町 ほしじち 貝殻町 かいがら
海鳴町 うみなり 朝凧町 あさなぎ
蛤町 はまごり 碓町 いかり 鱗町 うろこ
波除町 なみよけ 乙姫町

こんな町名のならんだ島が

神戸の沖にある

ポーアイという島のすぐ隣り

海のとてりかえしの陽炎の上にいる

ポーアイからも渡っていきける



今回は上にかかげたような詩を書いた。一読されたらすぐ合点のいく内容。つまり、原口忠次郎さんのせっかくの大事業が「ポーアイ」というような馬鹿げた呼び方で呼ばれていることへの抗議と嘲笑だ。

原口さんに生前面接して、「ポートアイランド」はいけません、もっと固有名詞として品格もあり市民の口に乗りにやすい日本語にしない。と私が提言したら、原口さんは「竹中さん、そんなこというけど、神戸は外国人がたくさん来るとこや、外国人に解らせるようにしたいから、ポートアイランドにした。今更、改められん。」と木で鼻をくくったような返事。私は「過ちを改むるにはほかること勿れ」と先人も訓えています。更めても恥ではありません。神戸開港百年記念事業だから、百年島がいい。または須磨の高倉山を削って造ったのだから、山への謝意をこめて高倉島もいい。何な

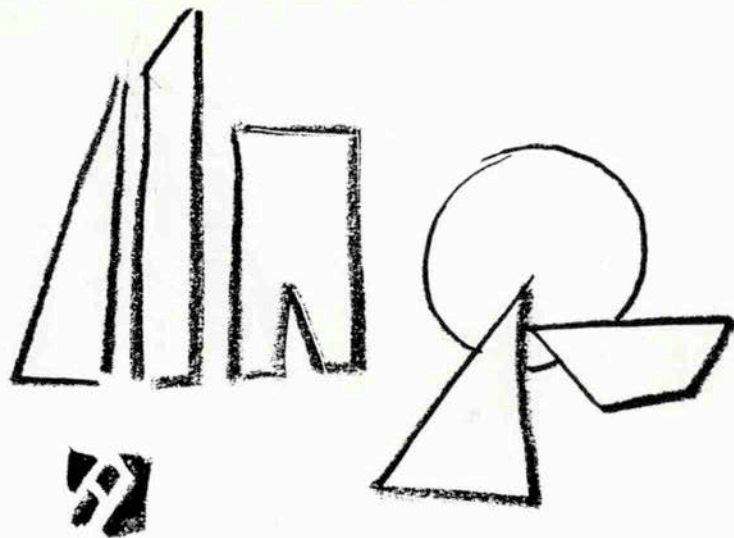
メリケン波止場からも渡っていける
島のあちこちを歩いて引返してくると

両脚にはしっとりと

珊瑚やきしゃごが光っているのだ

ポーアイというのは 印度のある州では

「おなら」のことを云うそうだ



ら、あんたの名前の原口島か忠次
郎島でもいい。」

そう押していっても、工学博士
のコチコチ頭には、名前の音韻美
や形体美はしみ込まないらしく、
頑固を極めた。思うにもう頭脳が
衰退していたのだ。

外国人に覚えてもらおうという発
想からして申しわけじみているだ
けで、本当に親切心があるならも
っと工夫をしてやるべきだ。英語
だけが通じがよいわけではない。

明治初期に、外国人の在留のた
めに神戸に居留地ができて、町名
がついた。どれもこれもシラブル
が短く覚えやすい。その上、京を
まん中に江戸や浪花や明石をいれ
て方角指示までやっけてのけてあ
る。そのころ、在県した新県令伊
藤博文の伊藤をとって、歴史の中
の時期も示してある。こまかい命
名ぶりだ。

漢字でもローマ字でも、目に入
れるに容易な並び方だ。

水室町、雪御所町、熊内町、国
玉通、若菜通、みな市政がひかれ
てからの命名だが、住民の意向を
ふまえて、由緒ある歴史を背景に
見て美しく、音にしてまぎらわし
くない。命名者の教養が十分にう
かがえる。

本校舎への移転と 榎並充造理事長

金子 太郎

〈神戸女子薬科大学学長〉

本山（武庫郡本山村、現在、東灘区本山北町）の山の中に本校舎の建築がはじまったのは、ようやく昭和九年になってからであった。創立以来実に四年経ってからである。

この本校舎の建築は、谷川沿いの細い山道をのぼり、山腹を切り開いての工事であったから、ブルドーザーなどがなかった当時としてはすこぶる難工事であったと思ふが、すこしでも安い建築費ということで、大敷校長が大阪の西野田職工学校（現、大阪府立西野田工業高校）に依頼し、生徒の実習をかねて建築してもらったものである。のちに本館増改築工事の際、本学にとって由緒あるこの建物がとりこわされたが、その建築の丁寧さ、資材の頑丈さは、建築の専門家が驚かされたほどで、実に立派な出来栄であった。この本校舎建築のための校地整地のさ中に発見されたのが、現在も本学構内に原形のまま保存されている約千四、五百年前の横穴式石室をもつ後期古墳で、その中から須恵器などいくつかの土器や鉄刀子なども発見された。この土器類は本学図書館に保管、展示されているが、千数百年の昔からこのあたりは、山を背にチヌの海を眼下に、気候温暖、住むのに快適な土地であったのであろう。

このような健康的な山麓の校地を購入し、本校舎の建築を可能としたのは、のちに述べるようないきさつで昭和九年理事長に就任した故榎並充造氏の経済的力量と教育に対する情熱によるものであるが、同時にここに至るまで創草の苦難を、末宗宏郎、宮崎道治氏ら当時の教職員とともに耐え、使命感をもって誠意ある教育をつづけてきた田村明一氏、大敷幸太郎校長の言葉でいえない忍耐と努力がその基盤となっていたといえよう。

さて、榎並充造氏の出馬であるが、これには次のようないきさつがある。前に述べたように専用校舎もなく、いつまでも仮校舎住まいを続けているという学校の不安定さも影響してか、創立当時の意気こみにもかかわらず入学してくる生徒数は毎年定員の半数にも達せず、学校経営の収支バランスは崩れたまま全くの赤字つづき、校舎の新築はおろか教職員の給与さえろくろく支払われず、借金はふくれるばかりという状況で、開校数年ならずしてついに薬専は廃校か否かの岐路にたたされてしまったのであった。この実情を知った文部省はこのまま捨ておけずとして、荒療治を行い、創設者田村明一氏を説得、退陣してもらい、そのあとに兵庫県学務部長石建國次郎氏を理事長にすえて薬専の経営基盤の確立をはから

せた。ときは昭和九年四月、創立後四年経つてのことであつた。石建氏はとにかく急を要するのは教育に理解ある経済の後援者の出馬である、神戸財界の有力者、神戸商工会議所会頭の榎並充造氏を説き、理事にむかへ、法人の大改革を行ったが、のち理事長となつた榎並氏の財政的努力と教育に対する理解と情熱により前述のように本校舎の完成に至つたものである。

このようにしてできあがつた本山村の本校舎に、仮校舎から顕微鏡、実験器具、薬品等を喜々として運んだ生徒たちの明るい笑顔は、着任したばかりの私にとつては

大藪幸太郎校長（昭和七年）



榎並充造理事長（昭和九年）



特に印象的で、忘れられない。昭和十年桜満開の四月であつた。大藪校長はようやく安定した経営基盤の上にたち、新校舎で気分新たに教育に全力投球し、教職員を叱咤激励した。その成果はやがて実績にあらわれ、第一回卒業生から無試験で薬剤師免許が与えられる国の指定校となることができたことは大きな喜びであつたが、その後数年の間、毎年行われた全国薬専一斉の文部省統一試験において全国第一位の成績を二、三年間つづけてとることができた名譽と共に、本学創立時の歴史に特記されてよからう。

大藪校長は人情厚く、心暖かい人柄であつたが、教職員に接する態度は謹厳そのものであつた。私にはいまだに忘れられない思い出がある。夏休みのある日の夕方、カスリの着物姿で学校内の池畔を涼みながら散策していたときのことである。どこから出てこられたのか、いきなり「金子君、ここをどこだと思つているのだ、神聖な学校ですぞ、たとえ休暇中といえども袴をつけて来なさい、着流しは許さん」とたしなめられたことだ。また自分は酒好きでありながら校内では一滴たりとも酒をのむことを禁止し、精神的ゆるみをきびしくいましめられた。創立早々、精神的緊張の必要性を痛感しておられたのであろう。榎並理事長もまた大藪校長と力をあわせ、生徒に対する科学的、精神的な巾広い人間教育を重視し、学界、思想界の大物を機会ある毎に学校に案内、講演をきかせた。植物学の東大牧野富太郎博士による「春の薬用植物」、岡山医大清水多榮学長による「胆汁酸の化学」、京大天野貞祐教授による「同情、友情、愛」などのほか、清浦奎吾伯爵による「女子薬剤師と人格」宇垣一成大将による「東洋道徳における婦人と婦人の自立」など多くの講演が行われたが、これらの講演はすべて会誌部の生徒が速記し、校友会誌「桔梗」に掲載している。この講演録は、牧野富太郎博士の数回にわたる講演記念に揮毫された「草根木皮是薬剤」の額とともに、今となつては貴重な資料となつている。



●「マイフェアレディ」神戸公演でイライザを演じた
栗原小巻さんを訪ねて

イライザに恋してます

新劇女優の栗原小巻さんが、ミュージカル「マイフェアレディ」イライザに挑戦。三月二十一日二十二日と神戸文化大ホールの自主公演で、益田喜頓、宝田明、財津一郎の芸達者を相手に、あの小巻さんが唄って踊ってお芝居を見せ、またまた新境地を開いて魅力を発揮。前日神戸国際ホテルに到着した小巻さんをインタビュー。

——「ルル」から二年ぶりの神戸ですね。
栗原 ええ「黄金の日」のロケで堺までは来ましたが、れど……。早いですね(笑)

——ミュージカルは初めてじゃないですか。
栗原 ええ初めて。十六年前に江利チエミさんが初演されてそれを観たつきりなんです。今度は、何が大変と違って、身体を毎日ベストコンディションにもって行くことですね。長いこと勉強しましたので、とってもしっかり出てくる部分、身体の調子が悪いと全然そこ迄行かない。

——東宝ミュージカルというのも初めてですか。

栗原 ええ。東宝の舞台ではシエイクスピアの「オセロ」や「アンナカレーナ」それから「三文オペラ」を、平幹二郎さんと一緒にしたんですが「マイフェアレディ」は四作目で、東京以外の名古屋、神戸へ俳優座としてでなく出演するのは初めてなんです。初めての経験が色々あって。

——バレエがとてもお好きですね。どなたのファン？

栗原 やっぱプリセツカヤですね。それから昔のレベシンスカヤさんなんかも好きでした。私がバレエをやっていたころ全国を一緒に廻ったことがあるんです。だから

ら印象深いですね。バレエはやはり身体をつま先から、手の指の先迄全てを使った芸術でしょう。言葉はなく身体全体で表現する。身体自体が芸術だと思う。劇場のオケ合せが始まるといった雰囲気から好きですね。ミュージカルにもその楽しさがありますね。オーケストラが始まるともう、ほんとにワクワクする(笑)

——何才ぐらいからバレエに入られたんですか。

栗原 私は十四、五才だから遅いんです。三年間バレエの学校に行って、レベシンスカヤさんと巡業について行ったのが十六才かな。日本中廻ったんです。ポリシヨイの先生になられて、ポリシヨイと私達の学校の合同公演で。だから、とても印象に残っています。その時、レベシンスカヤさんが日本でのスケジュールがきつくて、足を痛めていらっしやったんです。でもキャンセルできないし、休むこともできないし、舞台では、ほんとうに立派に素晴らしく踊って、終るとかかえてあげて入らないとだめなんです。そんな状態でも全部やり通して……。そういう踊りの裏のキビシイ面を目の辺りに見ましたし、パレリーナの友達と一緒に、それも初めての旅で楽しかったし、ほんとにステキな経験でした。

——それだけ好きだったバレエからなぜ芝居に？

栗原 バレエ学校に入らなかつたら俳優にもならなかつたでしょうね。バレエをやったときのポリシヨアナ先生が私達に踊ることだけじゃなくて、表現のための演技も教わったんです。その時教わったことが今でも演技の基礎になっています。先生がソ連に帰られて、次の先生がいらっしゃる間に何か勉強しておかなくてとは、偶々

俳優座の養成所をうけたんです。だからバレエをやめる気はなくて、たまたまそこに勉強したい事が揃っていた。初め両立させていたけど役者になりたい人ばかりで、必死についていけなかついていけないところもあって……。同期(十五期)には浜畑賢吉、前田吟、高橋長英、原田芳雄、夏八木勲、村井国夫、秋野大作さんとか、女優さんでは三田和代さんとか太地喜和子さんとか沢山いるんですよ。

——女優さんになって一番良かったことはどんなことですか。

栗原 大変なことが多いですけどね。瞬間瞬間の喜びは大きいですね。たとえば「マイフェアレディ」なんか私の大好きな作品でしたからね。これに出られるとわかった時は嬉しかったし、成功したときも嬉しかった。こういう風に名古屋や神戸で上演できるのも嬉しい(笑)それから私はバレリーナになれなかったでしょう。俳優になってソ連との合作映画をやるときにバレリーナの役で、ポリシヨイ劇場で踊った時には、ほんとに夢ではないかと(笑)ああ役者になってよかったです。バレリーナ

じゃとてもこんなところで踊れていないわ(笑)撮影で私の大好きな「ジゼル」を、向うの本役の方達が全部入ってプリマの方のところだけ私を入れて下さってやったんですが夢みたい(笑)

今度の「マイフェアレディ」も大変だったんです。皆に反対されましてねえ。ムリだからやめなさいって(笑)失敗してもやらなくちゃという気持ちで、苦勞するのに冒險して、ガンバルわけですね。努力することがむくわれることもあるから又やめられない(笑)

——それは栗原さんの役者根性ですよ。

栗原 私も女優をやって十三年も経ってしまったんですよ。でも今だに新しいことが一杯あるわけ。こないだやったからもうということがない。お正月・TVの「扇野」の芸者さんも初めてだし、ミュージカルも初めてで、いつまでたっても新しいことに挑戦してる。失敗したら、また今度はそれを越えなきゃと思うんです。

——これからのご予定は？

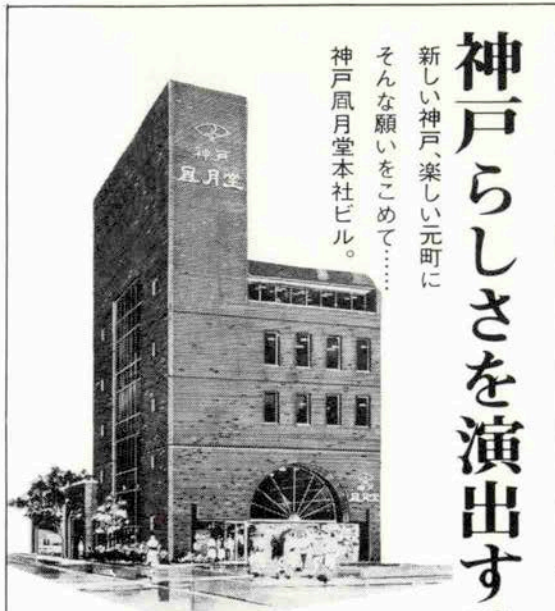
栗原 五月に国立劇場の俳優座の芝居でシェイクスピアの「アントニオとクレオパトラ」を。六月に関西で、神戸

も参ります。中谷一郎さんのアントニオと私のクレオパトラ。ぜんぜん違った女性なので勉強のための資料を読んでいます。「マイフェアレディ」に頭が行ってしまつて(笑)また十月に大阪の梅田コマでやるんです。——だんだん女っぽくなつてきてるけど恋はしてますか。

栗原 いま恋はしてない(笑)

イラストライザに夢中。その時その時夢中かな……。ほかにいらなみたい(笑)そうね。これが終つたら急に淋しくなつてほんとの恋人がほしくなるかな(笑)

黒に白いストライプのスーツに長い黒髪が印象的な栗原小巻さん



新しい神戸、楽しい元町に
そんな願いをこめて……
神戸風月堂本社ビル。

神戸らしさを演出する

宮殿の大広場を思わせる豪華な風月堂ホールは、忘年会、クリスマスパーティー、その他の発表会、各種展示会に素晴らしい演出効果を発揮いたします。

5 階	茶室・清月庵 特別室・ゴーフルルーム
3,4 階	事務所
2 階	レストラン「風月堂 緑の庭園」ランスロット・ブラザ」
1 階	和洋菓子・茶寮
地 階	風月堂ホール「グラン・バレ・ド・フーズ」

贈る心にお菓子をそえて



神戸風月堂

本社 / 神戸元町3丁目 ☎078(321)5555

一カ月仕上 是非ご用命下さい。
お支払いに便利なローンをご利用下さい

刀 剣 元町美術
古美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

TEL 078-351-0081

技術の波動

—文化産業への途—

諸岡 博熊

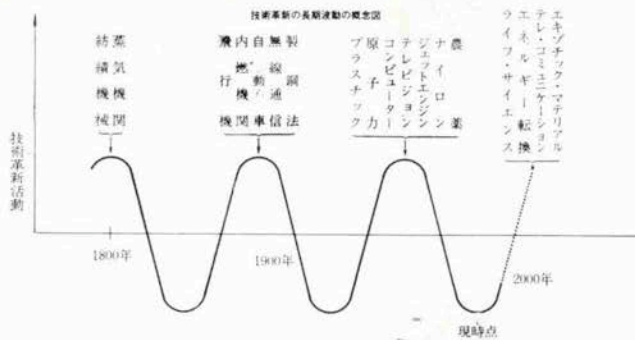
△文化開発研究所々長▽

技術革新は約60年の周期で波動している。たとえば、19世紀初期の波は、紡績機械と蒸気機関の発明を中心として強い駆動力を發揮した。つづいて、19世紀の終わりにから第一次大戦前にかけて新技術群が相ついで登場した。自動車、プロペラ機、無線通信、製鋼法などの数々の技術の輩出である。その波の頂上から60年近く経過した第二次大戦前後に現在の技術が出現した。すなわち、テレビジョン、ベニシリン、超ジュラルミン、合成ゴム、リーダー、DDT、原子力、ジェット機、農業、抗生物質、トランジスタ、電子計算機などである。このときに学問分野に有機化学やエレクトロニクスといったニューフェースも登場した。しかし、ここ10数年の間、新しい技術進歩、技術革新の出現はパツタリと途絶えている。したがって、市場拡大にも生産向上にも強烈なキメテとなる技術を失なうてしまっている。残された途として、異種、

異質の技術を組み合わせるハイブリットが存在するにすぎない。

たとえば、電卓に時計やライタを組み込むとか、テレビにラジオや、テープレコーダーをハイブリットするとか、なかには算盤に電卓といった傑作商品？まで出現している。

一九二五—一九五〇年の間と、一九五〇—一九七五年の間、つまり、20世紀の第2四半期と第3四半期での発明、開発のうちで重要なものを、技術革新の波動図に示して画いてみると、概念図のとおり



技術革新による生産技術の発展は、その生産のスケールメリットで逆に公害を発生してきた。つまり、社会、自然、生活に及ぼすところの副次的効果が技術のもたらす経済効率よりも重視されるようになってきた。これがいわゆるテクノロジ・アセスメントである。その上、テクノロジ・トランスファー(技術移転)といった既存の技術を生産技術から生活技術へと転進が強く求められだした。したがって、ハードウェアを生産する産業技術から脱却して、福祉増大、医療充実、環境保全、余暇開発、教育拡充、情報社会化、交通規制、災害防止などといったシステムのなものでソフトウェアが加味された人間の情緒を満足させるものを生産技術へと現在は変化しつつある。つまり、これが今いわれている文化産業群ではなかろうか。

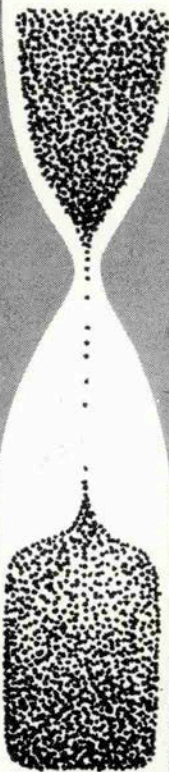
しかし、ライフサイエンスとしての生体工学は一番重要なところにあるが、人間の感覚機能に代わる技術は、聖域として神秘のベールのかげにあって、未だ科学技術の侵入を許していない。

文化とは人間の情緒を充足させるものであるから、モノをつくる側は、人間の情緒といった感覚に訴える「美的価値をもつ」製品を産業化することが必要であろう。

★キャンペーン

国際文化都市神戸を

考える



18

望まれる「ポートピア'81

への積極的な市民参加

渡辺 祥夫 (神戸ポートアイランド博覧会協会事務局
総務部長兼出展第二部長)

水谷 穎介 (都市計画設計研究所長)

妹尾美智子 (神戸市婦人団体協議会専務理事)

市民の力で「ポートピア'81」を成功させよう

昭和五十六年三月二十日から九月十五日まで神戸ポートアイランド博覧会(愛称「ポートピア'81」)が開かれます。目下、協会事務局の方で着々と準備が進んでいると聞いておりますが、まず、そのへんから……。

渡辺 神戸市では昭和五十年から企画局の方で、ポートアイランドで博覧会をやったかどうか、という調査を三年かけてやりました。昨年の四月から経済局の方でやるか、やらないかという具体的調査とその運営について研究せよということで一千万の調査費がついた。そして、八月八日に神戸市長から五十六年春にやりますという発表があり、それと平行してテーマ委員の方々にお願いで、メインテーマ「新しい海の文化都市」の創造」とサブテーマ(1)魅力ある海の未来都市、(2)21世紀の港

田崎 俊作 (田崎真珠株式会社社長)

中内 力 (神戸ポートアイランドホテル株式会社社長)

とくらし、(3)広場としての太平洋、(4)手をつなごう世界のふるさと」と基本理念が八、九月の段階で決まりました。それを受けて総合プロデューサーを小林公平氏(宝塚歌劇団理事長)にお願いし、基本構想づくりに取り組んでいただきました。これは昨年の十二月二十三日に最終案が出まして、そのまま発表しました。今年の一月二十三日に任意団体として神戸ポートアイランド博覧会協会をつくりました。これは主催四団体(兵庫県、神戸市、神戸商工会議所、神戸新聞社)の方々だけで役員を構成しています。現在、四月末を目標に財団法人化を急いでおります。

現在は基本構想の次の段階、基本計画へ進んでいます。我々としては六月までにまとめたと思っています。小林さんとの協定では、テーマ館「ランドグレー」(双方向光映像情報による海の文化都市創造のつどい)と特別館



中内 力さん



田崎 俊作さん



妹尾美智子さん



水谷 順介さん



渡辺 祥夫さん

「ヒューマンシテイKOBÉ」と「ふるさとひょうしん」の三館は総合プロデューサーの方で設計からあとの企画・運営までやるということになっていてその中味をまとめると提案が出ていますが、企業なり公社公団なり出展者が決めて欲しいということです。現在、出展勧誘ということとで、特に関西を中心にして大企業を対象に話を進めています。

今のところ全部で二十五から三十までのパビリオンをつくりたいという考えです。独立でパビリオンを建てる可能性のあるのは十二、三出て来そうです。それとテーマ館三館を入れて十五館。あとの残りは共同館といいますが、こちらで建てたパビリオンの中に入っていたら。特に外国関係、これは在阪神の総領事館、領事館に焦点を当ててお願いをしています。阪神にないところは東京の大使館にお願いをしている。外資系の企業で独立で出たいと意思表示をしているところが二、三ありますね。うまく行けば二十ぐらいは独立館ができないかなあというところです。

また、できるだけ物産展とか見本市の形式ではないものにした。そして、その上に、できるだけ地元京阪神の企業に参加いただけるようにしたい。あとは、市民参加、県民参加。これを催しにではなく、どういうふうなパビリオンに反映するか。たとえば、建物はこちらの方で用意して、なかはみなさんの力でやっていたらどうかなものをつくったらいいのかな、を考えています。

次に催しの関係ですが、国際交流会館があります。現在、十一階建てのビルを予定しており、地下一階から地上四階までが国際会議場で、そのうち地下一階と地上一、二階に七百人収容のホールを用意する。博覧会中は催しもののホールに使いたい。中央広場は大甲子園球場ぐらいの大きさですが、ここで屋外の催しものをやったらどうか。それと会場の左端（西端）にプールがあり

ますが、三、四、五月は屋内の催し会場にしてはどうか、ということ、この三会場を使った催しをこれから計画して行かないといけない。ただ、一八〇日間、三会場ありますので全部うめるというのは至難の業です。できるだけ県民参加、市民参加ということを考えています。

水谷 大阪の万博をやったとき、梅棹忠夫先生らとお話をしていたことは、日本の社会が国際交流というのですか、外に向って経済的につながって行く、そういうとき世界を格差のない社会として見て行きたい、そういう役割を日本の博覧会が果たして行けたらということが基調にあったと思う。日本が国際社会に乗り出すときにどんな精神をもって出て行くべきかという視点があったが、今の時期の博覧会は、社会情勢、経済情勢を考えると、今までのように外に向ってどうのというのじゃなく、日本としてたまたま直すとか、国づくりの問題にしても、自分自身をどうキチツとつくって行かないといけないか、ということを示して行かないといけない時期じゃないか。

今度の博覧会のなかに、これからの新しい市民社会のあり方は何なのかというテーマをもった本当の意味の市民参加、市民がこれからの神戸をつくって行けるような市民参加のフィロソフィのしっかりしたものをつくって行ければいいのじゃないかという気がします。

妹尾 神戸という町がこれからどうなるかとしているのか、神戸の町の人たちはこんな願いをもちながら住んでいるんだよ、ということが何かの形で博覧会で出せたら、という気がして仕方がないですね。何か、それが何になるかは分らないんですが、何かが日本の地方のある都市から湧き出て来て、それが日本全体に広がって行くようなものがあるんじゃないかと思えます。政治でも経済でも東京中心で動かないといけないという風潮を今度の博覧会で、そうじゃないよ、日本の中心はいろんなところにあるんだよというものが博覧会で出せたら、一つの成果として得られたらいいなあという感じを基本的にもっ

ています。

中内 たとえば、東京の晴海を見ても、展示会場とかの施設はあるが、展示会などの目的があるときは行っても、それ以外のときはまったく行く気にならないという環境ですね。ポートアイランドがそういう環境になってしまおうと、神戸市としても大問題です。ということを考えても、この「ポートピア81」で神戸市民あるいは全国から、海外からもたくさんの方が来られると思うが、そういう方々に新しく人工造成された土地のあり方を示すものであって欲しいという気がしています。

田崎 神戸の経済の地盤沈下がしょっちゅういわれつつけているのですが、これはどうしても立地条件的な必然性があるような気がする。だから前市長の原口さんがほう大な計画をもって何といわれても埋め立ててポートアイランドをつくったのは、非常な炯眼だと思う。海をいかに利用するかに今後の神戸経済の浮沈がかかっている。

博覧会については具体的な案がいろいろと出ていて結構だと思いますが、これを残すような方向でやっていただきたいし、神戸には昔から国際的な伝統がありますので、これをさらに進めるようなチャンスにして欲しいし、また、六甲アイランドをどうしようかという問題が次に起って来るので漫然とするわけにも行かない。引きつづいてそれをどういうふうにやって行くのかということ、神戸市民があげて関心をもつべきことじゃないかと考えております。

最終的には神戸経済浮上の起爆剤にしたい

渡辺 博覧会をやる目的を四つ考えています。一つは、ポートアイランドを市民自身があまり知らない、県民や大阪、京都の方も知らない、まず、ポートアイランドを認識していただく、見ていただくということ。二番目は万博以降、関西にはこういう大きな催しがない。この博覧会によって夢と希望をもっていたきたいということ。三番目は、神戸独自の文化を守り育てて行くとい

うことと、この博覧会を通じて新しい生活文化、神戸らしい兵庫県らしい文化をここで創造して行くこと。四番目は、経済・産業の発展の起爆剤ということですね。五十四、五、六年の三か年に国、県、市をあげて千五百億の投資をやる予定にしていますが、五十六年三月に博覧会をやるので、それまで施設を全部揃えるんだということ、千五百億の集中的な投資をやるのが生む経済の波及効果を経済発展の起爆剤にしたいということですね。それが最終的に地元の経済発展、産業発展の役に立つものでありたいというのが最終目的です。

水谷 神戸は国際社会のなかでどういう都市を創造して行くのか、それが国際社会にどう貢献して行くのか、大きな展望がこの博覧会に欲しいですね。

一つは、これからの国際社会の展望になつて何かキツカケになるものをつくって行きたい。それが、神戸の町のこれからの行き方を示す。二番目には、国際交流を長期に考えて行くベースであつて欲しい。たとえば、芸術、美術の分野でいえばベニスやミラノがビエンナーレとかトリエンナーレとか継続的にやっているが、神戸にもぜひ一つつくってもらふ必要があるのじゃないか。これから長い間、ズツとつづけて行ける国際交流の常設館が欲しい。たとえば、真珠をテーマにした宝石デザインの世界のなコンクールを継続的にやる。

田崎 国際的なデザインコンテストは毎年、東京でやっているんですが、将来は神戸でやりたいという意向は我々の業界にも強いです。「ポートピア'81」でも真珠会館をお願いしているわけですね。

妹尾 国内で国際会議はずいぶんあるんだそうですね。ところが東京や京都でやると、ホテルを中心にやるので相当な費用になる。国際会議場が神戸にできるし、ホテルも横にあるし、日本の国際会議の殆んどが神戸へもつて来ることはできないだろうか、という話が出たこともありますね。また、ちようどこの年は国際障害者年になるので、社会福祉という意味の福祉的な面を博覧会のなか

でとらえて行つてみたらどうだろうか、とか周囲でいろんな意見が出ておりますが、私は、まず神戸市民に関心をもつてもらふということが非常に大事じゃないかと思えます。そういう意味からいうといるんなチャンスに博覧会への夢、期待みたいなことをいろいろな場で聞くことが一番大事じゃないかと思う。

中内 日本で国際会議をやる時にホテルと国際会議場と展示会場が一所に計画的につくられたものはまったくないといつていい。今度それがポートアイランドのインターナショナル・スクエアにつくられるということ、非常に関心は高いですね。これは大いに期待できますね。

ただ、問題は、ポートアイランドは周辺にコンテナヤードという機能をもっていますので、これと住宅、文化施設とをいかにうまく調和させるかは大きな課題であると思う。「ポートピア'81」で四五〇万とか五百万の人が来られる。そのときにどういう印象をもたれるか。ですから博覧会場のなかだけを考えるのじゃなくて、その周辺との調和がどうなっているか、博覧会がスタートするまでにある程度の整備しておく必要があるのじゃないかという気がしますね。博覧会場のなかだけを見せるのじゃなく、神戸の町全体を見てもらうという博覧会だと思えますね。

博覧会を機会に神戸全体を見てもらう

渡辺 この博覧会はミニ万博にはなりたくない。それを可能にするのは市民参加じゃないかと思う。みなさんの力でつくって行く博覧会にしたい。画然と見せる側と見る側が分かれてるものにはしたくない。みなさんの声を何らかの形でとり入れる機会をつくって行きたいですね。

妹尾 特に主婦の場合、港と町とはまったく別ですね。どうかすると港があるから神戸の町はややこしくなるという考えすらあるのが本音ですね。ですから、コンテナヤークレーンというものが私たちの生活と密着している

んだという、そのへんも含めた形で博覧会ができればなあと思いますね。

水谷 万博の場合も結局、会場だけでしかならなかった。大阪の町のなかには何も残らなかった。沖繩もせっかくあれだけつくったものがどれだけ役に立っているかという、非常にもったいないものになった。神戸は小さな町ですから、ポートアイランドだけじゃなくて、神戸の都心全体、六甲山や須磨の海岸までつないだ町をみんなに見ていただく機会だということは重要だと思う。博覧会を一つの機会として、神戸の町のなかで買物をしたり散歩したり、美味しいものを食べたりということが一番大きなことです。町全体と博覧会をどういうふうにするかネットワークして行くのが非常に大事なテーマだと思いますね。

中内 「ポートピア81」へ来られるお客さんに神戸全体をいかに見せようかということですね。コンテナヤードとか酒蔵とか、現在神戸がもっているユニークなものをこの機会に紹介するということを考えたなら、博覧会自体がより魅力あるものになると思いますね。

渡辺 我々も博覧会場のなかだけが博覧会だとは思っていません。兵庫県と一緒にやっていますので、できればこの機会に、「みどりの回廊」計画、そのへんと兼ね合わせた観光コースを研究しようということをやっています。会場外の催しも検討しています。たとえば、港に豪華客船を集める、世界の帆船を集める、アメリカから太平洋横断のヨットレースをやったらどうか、などいろんな提案をいただいておりますが、とにかく、会場のなかだけではなく全体をやって行こうという構想で進んでおります。

妹尾 三宮でも元町でも八時以降になると何となく冷たい町になってしまう。あれは人が住んでないからだと思う。生活がそこにないかあんなんじゃないかと思う。ポートアイランドで一つ救いがあるのは、あそこへ人が住みますね。それとホテルがある。二十四時間、そこに

人間の生活があるということは何ともいえないあったかい雰囲気をつくってくれるのじゃないか。それがただ一つの救いのような気がします。

水谷 生活がある町でないといけないというのは非常に大事なことです。これからそのへんをいかに上手に行かかかポイントだと思えますね。

中内 会期は一八〇日というロングランですね。そうするとますます口コミの影響が大きくなって来る。オープンして来られたお客さまが、よかったということで口コミがどんどん広がるか、それとも、あれはダメだということになると、前宣伝がいかによくても客はちよつと来ない。パビリオンとかいろいろなことを考えないといけないのですが、会場内での食事と販売する商品の品質と価格について十分な管理が必要じゃないかと思えますね。買物のために、あるいは食事のために来るといふ形になれば動員客数はどんどん増えると思うが、一定期間だからということ、内容の貧弱なものを高い値段で売ると、博覧会全体のイメージに影響して来ると思えますね。

田崎 願わくば日本の経済なり国際情勢が「ポートピア81」を開催するにふさわしいような状態であることを願っていますね。資源の問題その他で日本の経済が厳しくなると、夜もやりたいけれどもできない、ということにもなれば大変ですからね。そういうことも背景に考えながら企画をしないといけないという感じはしますね。

妹尾 結局、三つの催し会場の催しがどれだけ人を引きつけるかでしようね。

水谷 建物は仮設ということですが、仮設だからといって、いい加減なものを建てるのはやめて欲しい。それはお金をかけるということじゃなくて、少々地味でもいいから、オーソドックスでもいいから、少しくチツとした感じがするものが欲しい。色とりどりでケバケバしてという今までも見て来た博覧会と同じではないものにして欲しいですね。(オリエンタルホテルにて)

田崎真珠株

取締役社長 田崎 俊作
神戸市灘合区旗塚通 6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株

取締役社長 川上 勉
神戸市生田区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株

取締役社長 稲岡 必三
神戸市生田区三宮町1丁目17-4
センタープラザ東館8F
TEL (078) 392-2101

株ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男
神戸市生田区三宮町1丁目54
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株

取締役社長 葛野 友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851-1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上5社の提供によるものです。